

## 2-4 Windows 設定の チューニング ～画面を広く使う

### 狭い画面をできるだけ広く使う

Windows XPをより高速にするような高度なチューニングには、47ページで紹介するレジストリ編集が必須です。しかし、Windows XPで行える基本的な設定変更だけでも、ずいぶん快適に使えるようになります。

#### ・スタートメニューのカスタマイズ

Windows XPのスタートメニューは、デスクトップパソコンで見ると何とも問題ないのですが、画面の狭いネットブックでは悪い意味で存在感があります。

そこで、おすすめしたいのが「小さいアイコン」の使用です。スタートメニューのアイコンを小さくすることで、スタートメニューに表示するプログラムの数を、6個から12個に増やすこともできます。

#### ・デスクトップアイコンのカスタマイズ

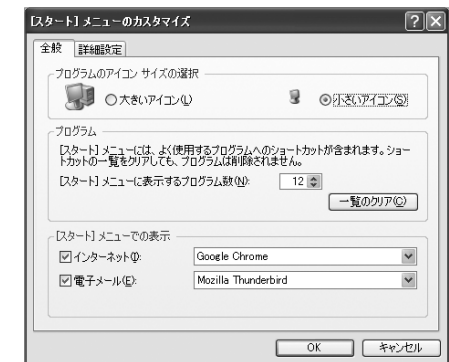
スタートメニューのアイコンを小さくすると、今度はデスクトップのアイコンが大きくなり感ぜられるかもしれません。そんなときは、デスクトップアイコンも小さくしてしまいましょう。デスクトップのプロパティから、デザインの詳細設定を開くと、アイコンの大きさや縦横の間隔を数値で設定することが可能です。これで、デスクトップに置けるアイコンの数を大幅に増やすことができるので、デスクトップにアプリケーションのショートカットをたくさん並べたい人には便利でしょう。

#### ・タスクバーのカスタマイズ

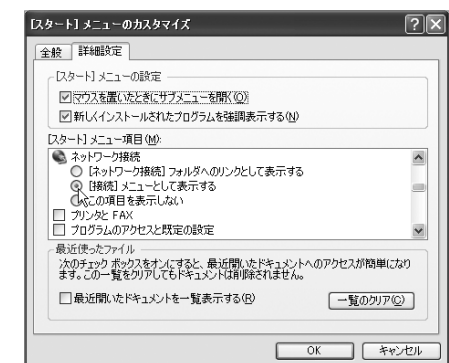
Windows XPのタスクバーは、幅を大きくすることは可能ですが、初期状態以上に細くすることはできません。たとえわずかな幅であっても、タスクバーの部分までウィンドウを大きくしたい！ という場合には、[タスクバーを自動的に隠す] 設定を有効にしてください。これで、タスクバー上にマウスカーソルがない場合は、自動的にタスクバーが隠れ、ウィンドウをより大きく広げることが可能になります。

### スタートメニューのカスタマイズ

- 1 スタートアイコンを右クリックし[プロパティ]を選択します。プロパティ画面の、[全般] タブで [小さいアイコン] を選択し、[[スタート] メニューに表示するプログラム数] を「12」に設定します。大きなアイコンによるスペースのムダな感じがなくなり、たくさんのアイコンを表示することが可能です



- 2 [詳細設定] タブでは、メニュー項目の表示／非表示を設定できます。モバイル用途が中心なら、[接続] メニューを加えておくのもおすすめです



- 3 カスタマイズ後のスタートメニューです。アプリケーションのアイコンが小さくなったことで、表示できるアイコン数を増やすことができます



## デスクトップアイコンのカスタマイズ

1 デスクトップの何もないところで右クリックし【プロパティ】を選択します。プロパティ画面から、[デザイン] タブにある [詳細設定] をクリックすると、「デザインの詳細」画面を開くことができます。アイコンのサイズや間隔の設定を行うには、[指定する部分] メニューから [アイコン] [アイコンの間隔 (縦)] [アイコンの間隔 (横)] を選んでください



2 アイコンのサイズや間隔は、数値で設定します。今回は、アイコンのサイズを「30」、横の間隔を「30」、縦の間隔を「28」に設定してみました。いろいろ試してみて、自分なりの気に入った値を見つけるのもよいでしょう。なお、アイコン間隔の変更を反映させるには、Windows を再起動する必要があります

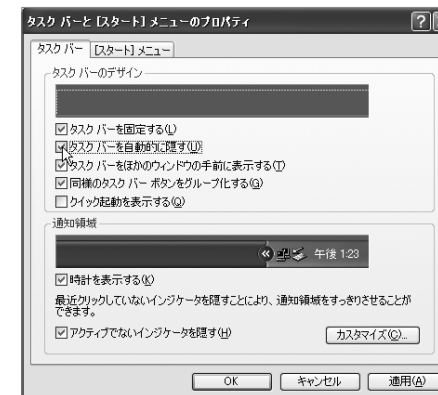


3 標準サイズアイコンのデスクトップ (左) と、アイコンサイズを小さくしたデスクトップ (右)。縦1列に置くアイコンの数が3つ増えました



## タスクバーのカスタマイズ

1 タスクバーを右クリックし【プロパティ】を選択してください。プロパティ画面で、[タスクバーを自動的に隠す] をチェックすると、タスクバーが自動的に隠れるようになります



2 タスクバーありの状態 (左) とタスクバーを隠した状態 (右) では、少しではありますが、画面を広く使うことが可能です

